

「沖縄戦から平和を学ぶ」

お話を聞いた感想を、講師の三好先生と津谷先生にお手紙を書く形で書いてみよう
じやね

私は三好さんや津谷さんから話を聞くまで沖縄戦や大太平洋戦争などの戦争と兵庫県は全く関係ないと思っただけ、沖縄戦は特に兵庫県と関係あることがわかりました。一番びっくりしたことは、兵庫県にアメリカ軍から無差別爆撃が繰り返されたことです。理由は、兵庫県は何も被害を受けていないと思ったからです。そして沖縄戦の犠牲者の9万人が民間人だということにショックを受けました。無差別に同じ人間を攻撃するのはあってはならないことだと思いました。今日知ったことをちゃんと覚えておきたいし、自分より小さい子たちや家族、親しい人たちに伝えていくこともできるのかなと思いました。そして最後に、最後まで沖縄の人たちの力になり続けた島田あきらさんのことを尊敬するなと思いました。なぜなら私なら自分の命を最優先にしてしまうから他人の事を考えるひまはないと思ったからです。



(2) 年 () 組 () 番 名前 ()

「沖縄戦から平和を学ぶ」

お話を聞いた感想を、講師の三好先生と津谷先生にお手紙を書く形で書いてみよう



私は今日お話を聞いてとてもうれしい気持ち
と島田さんへの感謝の思いでお手紙を書きました。

私は父が沖縄出身で四歳まで沖縄にいました。その頃
から沖縄戦争の話はよく聞いていましたから島田さんの話
を聞くのは初めてではなかったけれど、今まで以上に島田さん
のお話や沖縄戦の話を聞いて島田さんは私も沖縄の人
達と共に戦争を最後まで生きてくれた恩人で沖縄戦で
なくなった人々は私の想像以上だったという事に驚きと
悲しい思いにつまれました。戦争というものは私が思ってい
るよりも悲さんで苦しくていつまでも人の心に深い傷をの残し
ていくものでけして終わることはないのだと思いました。だから
私はもと戦争というものの重みを知り命の大切さについて
と知りたいて今回のお話を聞いて思いました。そして津谷先生に
とても感謝です。日本での戦争といえば広島や長崎とよく言われて
いたのですが津谷先生のあの構え人は沖縄の人達にとってとても
うれしかったです。本当にありがとうございました。

(二)年()組()番 名前()

「沖縄戦から平和を学ぶ」

お話を聞いた感想を、講師の三好先生と津谷先生にお手紙を書く形で書いてみよう

広島と長崎の原爆投下についてはこれまで
授業などでよく知っていましたが、沖縄戦のこと、
それも兵庫県と深い関わりがあったことなどは
今日の講演会で初めて知りました。沖縄戦については以前
自分で興味があって本などで調べたことがあったため、ガスマ
や米軍の火炎放射、ひめゆりのことは知っていましたが、そんな
中島田さんという兵庫県出身の人が人々を先導していたこと
を知り、一気に他人事ではなくなりました。戦争とは、人と思
いやる気持ちも、生きようとする思いも全てふみにじってしまうと
ても悲しいものだとわかりました。
戦争は今も世界中で起こり続けており、その悲惨さは様々
な形で語り継がれています。目指すのは平和な世界だけ
で、過去を忘れずに未来へ伝えていくという役割も、私も
引き継いでいきたいと思いました。



(2) 年 () 組 () 番 名前 ()

「沖縄戦から平和を学ぶ」

お話を聞いた感想を、講師の三好先生と津谷先生にお手紙を書く形で書いてみよう

今日は、私たちに、沖縄戦から平和について
はなしていただき、本当にありがとうございました。
ました。



私は今まで、戦争といえば、広島や長崎の原爆
を想像していました。だけど、今日、話を聞いて、
沖縄でも、大きな戦争があったと知りました。JR三
宮駅の青い高架橋に残る機銃掃射の痕跡を
実際にみたら、今からどんなに幸せなのか改めて
感じる事ができるんじゃないかなと思いました。沖縄に
ある、島守のとうを実際に見てみたいです。大統りょう
の友人が海外にいた場合、その国との戦争は、わ
ざわざ行わないと聞いて、海外との交りやうも
深めておくことが大切だと思いました。

私はこれから、三好先生と津谷先生から伝えてくださ
たことを生かして、戦争について、学んでいこうと思
います。

(2) 年 () 組 () 番 名前 ()

「沖縄戦から平和を学ぶ」

お話を聞いた感想を、講師の三好先生と津谷先生にお手紙を書く形で書いてみよう

津谷先生。今日は素晴らしい講演をありがとうございました。私は、津谷先生の講演で沖縄戦の犠牲者は20万人以上と知っていて、驚きました。そして津谷先生がおっしゃった20万人は4人に1人が亡くなってしまった事だとも現実に、私も4人家族なので、お父さんやお母さん、弟がもし死んでしまったら...と思うとすごく怖かったです。でもそれが真実であり、現実だ。たという事を改めて戦争が身近に感じる事ができました。でもそれを受け入れ、次の世代に伝える事ができれば、これが日本や世界が平和になる第一歩であり、争いやもめる事が減り、幸せがいっぱいで平和がいっぱい世界になっていくと思いました。島田 聡さんの事を前の道徳で知りました。その知った事を弟に言ってみたり、私が伝えなきゃまだ誰も知らない大切な事が眠ったままでは前に進めないと思いました。

(2) 年 () 組 () 番 名前 ()

「沖縄戦から平和を学ぶ」

お話を聞いた感想を、講師の三好先生と津谷先生にお手紙を書く形で書いてみよう

本日はお忙しい中、平和についての
講演会をしていただきありがとうございます。
でした。



私は今回の木暮講演会で平和の大切さ
と命の尊さについて学ぶことができました。
沖縄戦では知事として島田さんが自分の
命をかけて県民を守りぬこうとしたけれど
たくさんの犠牲を出してしまうことがあって、平和を
願って叶えようとしている人はたくさんいるのに
そのような願いと関係なく理不尽に命が奪
われていくことはあってはならないと思いました。
領土や資源の問題、民族の対立や宗教の戦争など
戦争の要因はたくさんあって日々戦争がおこりか
ているけれど、戦争を一つでも減らすために話し合
いや思いやりや協力で戦争以外で解決できる問題が
増えればいいなと思います。自分にできることは少な
いけれど少しずつでも平和に近づけるようにして
いきたいです。

(2) 年 () 組 () 番 名前 ()

「沖縄戦から平和を学ぶ」

爆

お話を聴いた感想を、講師の三好先生と津谷先生にお手紙を書く形で書いてみよう



お二人の話をして、沖縄で、ど
れだけの人が、身の傷を負った
か、あるいはどれだけの人が、意
味なく、なくなったかと思うと、とても悲しい
気持ちになります。火垂るの墓でもそうだし、
たけど、両親がなくなった自分と同じくらいの
年の子や自分より幼い子がお腹をすかして、死んで
いったことか、今、自分の生きている国で
起きてしまったことか、悲しいです。沖縄戦
で、関係ない人々がなくなったことも悲しいで
す。このことから戦争は全然良いことかなく、
悲しいことを生みばかりです。でも、悲しいことが起きてほ
うから、目をさめるのではなく、皆、自分でととし
て考えて今、平和な国だからこそ悲しいこと
かもう起こらないように世界中の人が、他人
を思い合い、生活していけたら、もっと、
スナフキは世の中になるんじゃないかなと思っ
ました。

()年()組()番 名前()

「沖縄戦から平和を学ぶ」

お話を聞いた感想を、講師の三好先生と津谷先生にお手紙を書く形で書いてみよう



今日は貴重な時間を私たちに費やして下さり
本当にありがとうございました。
私が心に残ったことは沖縄戦のこと
の戦争で大切な人を亡くした人もいるから日々家族と過
せて友達と遊ぶことは当たり前じゃあないということ
を改めて実感しました。
戦争がなくて平和がどれだけ幸せかそれが当たり前だと思わな
いことが大切。
この講演で命の尊さ どれだけ命がかけがえのないものであるか
実感しました。
これから毎日毎日と大切に過ごしていきたいです
私が好きだと思ったのは、たとえ戦争にまつても
相手の国に友達や一人一人に爆弾を落とせばいい
ミサイルを撃ち込めばいいから、自分の国はいいから
他国の人とも交流を通して仲良くなって、習慣や宗教
をお互いに認め合えなければいけない、と思いました。

(2) 年 () 組 () 番 名前 ()

「沖縄戦から平和を学ぶ」

お話を聞いた感想を、講師の**三好先生**と**津谷先生**にお手紙を書く形で書いてみよう

今日のお話を聴いて、平和記念資料館
に修学旅行で訪れた小学生の頃を
思い出しました。何度戦争の記事を読
んでも戦争はとても怖いものだと思いました。
広島や長崎や沖縄だけではなく兵庫県の
あらゆるところでも空襲があったことを知っ
ておどろきました。沖縄が空襲で危険
な状況の中、自分の命が無くなっても沖縄
県知事になった島田さんの勇気と思いや
りに感動しました。人のためを思った行動
はとても大切だと感じました。世界で戦
争が無くなったわけではなく、今現在も
戦争で苦しい思いをしている方々もいらっ
るので戦争の怖さや命の尊さをもっとい
ろんな人が知る必要があると思いました。
戦争や命の尊さを考えるきっかけとなりま
した。本当にありがとうございました。



(2) 年 () 組 () 番 名前 ()

「沖縄戦から平和を学ぶ」

お話を聞いた感想を、講師の王好先生と津谷先生にお手紙を書く形で書いてみよう



今回は、貴重なお話ありがとうございました。

改めて「平和」とは何か、よく考える機会になりました。

実際、戦争に直面したことはないから、イメージを持ちにくいです。

が、こうして平和記念公園があったり、平和学習を推薦してくれる

大人がいて、私は嬉しいですね。生きていく上、過ちを知ることは

必要不可欠なものなので、絶やさないでほしいです。

私は、昔から戦争関係^{の映画}を自ら見ている為、平和について考える

時は、割りとバツと意見が出ます。「戦争がなく、日々を送れる」ことが

全ての平和では、ないと思うんです。誰かの幸せは、必ず誰かが

が苦しんでいるもので、となると平和の定義は、改めて

難しいなあ、と思います。誰かの小さな幸せが、いつか世界に広がって

誰かが誰かの明日を紡ぎ合わせる未来こそが私たちの理想郷です。

それが少しでも早く叶うように、今後もこういう体験を

絶やさないでほしいです。

昔は、修学旅行の平和学習を少し不服に思っていたけれど

学習を重ねる度、本当に大切なものだ気がしてきました。

改めて、今日はありがとうございました。

(2) 年 () 組 () 番 名前 ()

「沖縄戦から平和を学ぶ」

お話を聴いた感想を、講師の三好先生と津谷先生にお手紙を書く形で書いてみよう

津谷先生へ



平和のことについてお話をしてください、
ありがとうございます。戦争が今まで
たくさん起きていることや、今でも世界中で起きて
いることも知っていたし、してはいけないということも
知っていたけれど、改めて詳しくお話をしてくださいな
ことで今までよりも興味をもつことができました。それに、
今自分が戦争に巻き込まれずに過ごしているの
は当たり前じゃないからこそ、同じことを繰り返さ
ないために、日/日を大切に悔いのないように生き
ていこうと思ったり、だから戦争について詳しく知る
こと、次世代に語り継いでいくことが大切だと気付
かされました。なので、私はこれから毎日楽しく笑
って充実した日々を過ごしていきたいと思います。
今回は戦争のお話、これから大切にしていこうと思っ
たことを気付かせていただいたので本当にありがとうございます。

「沖縄戦から平和を学ぶ」

お話を聞いた感想を、講師の三好先生と津谷先生にお手紙を書く形で書いてみよう

今回の講演で、「なぜ戦争について考えなければいけないのか？」がわかりました。
まず、津谷先生のお話で、私たちがあまり戦争について関係がないのかなと...
思っていました。戦争中の沖縄を自分の命を助けて守り、指針をとった人が、
兵庫出身だと知り、驚きました。島田さんの話で、一番すごいと思ったのは、沖縄の状況を
知っていて、沖縄に行かぬのは絶対、とわく、様々な事を知り、さらに自分から農民の方の
為にと食料を確保した事が一番印象に残っています。兵庫県出身の方の名前が、
今も「島守の塔」として残っている事など、島田さんに会って「戦争の為、命を助けた人が、
自分という事を知る事が出来た。
三好先生は、その当時の様子を今でも「具体的に実際の写真で見た事なし、2回くらい見た。
が三好先生の講演、原爆が落ちた瞬間の写真など見ると、ガッとして、体験してい
たみたい。想像が身が凍り、正しくおじいさん、おばあさん、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、
戦争が瞬間で終わってしまったので、これから日本が考えなければいけない過去である
と思いました。
知って、今の日常がありがたき、とても幸せな事なんだという事を、日々頭に置いて、感謝の
気持ちを持つ事が大切なのかなと考えられました。
このような機会をいただき、ありがとうございました。

(2) 年 () 組 () 番 名前 ()

「沖縄戦から平和を学ぶ」

お話を聞いた感想を、講師の三好先生と津谷先生にお手紙を書く形で書いてみよう



本日は私たちのために平和について、大切なことをお話して下さいありがとうございました。
小学校の頃から戦争について学んできたけど、自分が知っていた事は戦争のほんの一部なんだと感じました。
沖縄戦では島田 毅知事が任命された時、逃げたりせずに沖縄に向かったということが「自分たちも無理だ」と思いました。死を覚悟して危険な中台湾まで行き米を約450トン入手して、沖縄だけでなく北の方まで配っていたというのを聞いてとても驚きました。

また、最後には部下に「命を大切にするように」と言い残し住民を犠牲にしてしまったことの責任を感じその場をはなれずに最後を向かえたのを聞いて責任感がすごいと思いました。
今、私達が過ごしている「当たり前」の生活は決して自分たちだけで成り立っているものではなく、他の人の支えがあるから「当たり前」に過ごせていると感じました。私が戦争の苦しみ、恐ろしさを簡単に全てを理解することはできないけど過去の戦争を知り受け継ぐことが今の私に出来ることだと思いました。

(2) 年 () 組 () 番 名前 ()

「沖縄戦から平和を学ぶ」

お話を聞いた感想を、講師の三好先生と津谷先生にお手紙を書く形で書いてみよう

戦争についての貴重な講演をありがとうございました

本当にありがとうございました。私は、戦争と

聞くと、広島や長崎などを一番に思い浮かべ

ていましたが、沖縄も絶対に忘れてはいけない場所

なんだと知ることができました。今でも戦争は、絶えること

なく続いているし、平和な世界へと変えていくために 私たち

がしなければならないことは、たくさんあるので、歴史や現状

をもっと知ろうとしたり、学んだことを考えて 次へとつながって

いくことが大切だとも思いました。島田さんのような人を見つけて

ず、自分を犠牲にしても、必死に戦い、多くの人を救い、

私たちに大切なことをつないでくれたことは、本当に尊敬できる

行動力の素晴らしい人だとも思いました。時がたつことに

人は忘れてしまうから、きちんと知って、自分にできることを考えて

いきたいです。この地域では、そんなに戦争はないと思っていました

が、空襲で多くの方が亡くなってしまったと分かりました。

しかも、平和学習や戦争について、学ぶ意味を学ん

沖縄を大切にしたり、歴史的想像力も意識して、これからの私の

生き方へとつながっていくたいです。本当にありがとうございました。



(2) 年 () 組 () 番 名前 ()

「沖縄戦から平和を学ぶ」

お話を聞いた感想を、講師の三好先生と津谷先生にお手紙を書く形で書いてみよう

三好さん、津谷さんへ

今日は、お忙しい中、私たちに
戦争のことを伝えてくださってありがと

うございします。お二人のおかげで、戦争の
残酷さや悲惨さが伝わってきました。

私はこの話を聞いて、島田 叡さんのようなどこまでも
人のことを考えられて、どんなことにも全力で取り組
んであきらめない強い心を持った人になりたいです。

そして、もう二度と尊い命がたくさん失なわれ
てしまうようなことがおこらないように、私たち
が、今日のことをしっかり覚えて、次の世代に語り
次いたり、戦争の後が残っている場所に
行って、戦争のおそろしさを感じることも大切
だと思います。

今日は約100分間もの間私たちのために、時間を
使ってくださいありがとうございました。



(2) 年 () 組 () 番 名前 ()